

☆ところで、「武」とは誰をさすのか？

→実は「武」については、日本のどの天皇と同一人物かということについて、ほぼ特定されている。

Q7. その天皇とは？ [P.27①&「系図」] A7. _____

※なぜ中国で「武」とされたかという、この天皇は幼いころの名を「大泊瀬幼武」といい、一般に「6 _____」とよばれていたことにも由来するとされる。

(さらに…)

☆この「ワカタケル大王」の名前が刻まれた武器が2ヶ所の古墳から発見されている。

Q8. その2ヶ所の古墳とは… [図表P.46①②]

*7 _____ 県・ _____ 古墳 (鉄剣)

*8 _____ 県・ _____ 古墳 (鉄刀)

→ 刻まれた文字を読んでみよう。

Q9. これらの発掘からワカタケル大王 (=雄略天皇) の支配力が及んでいた範囲、すなはちヤマト政権の勢力範囲が推察できる。それはどの程度の範囲？ [図表P.46「解説」]

A9. 雄略天皇の時代のヤマト政権の勢力は、9 _____ 地方から10 _____ 中部にまで及んでいたことが推測される。

☆古墳時代中期の5世紀は「 _____ 」と、覚えよう。

ヒト「〇〇」に入る語は？
「〇〇の五世紀」
予想を以て「確認プリント」で確かめよう。

P.27① を読んで Q7 の答を確認して...



図表P46 の左右両端にある鉄刀、鉄剣が古代史を解明する重要な遺物とみる



左の真中にはうすい紫色の背景に刀に刻まれた文字の現代語訳があり、右にも縦に長く紫色の背景に剣に刻まれた文字の現代語訳がある。そんなと読んでみた。同じ 図表P.46 中央上の解説を読んでみて、この刀や剣の意義はわかる。